



## 福祉の施設や活動ってたくさんあるんだ！

— 栗山いちい保育園の体験 —

夏休み体験ボランティアの参加者は、体験を通して、福祉について考える機会となりました。(関連記事P2)

- 夏休み体験ボランティア……………2
- 栗小福祉教育……………3
- 人生の挑戦者紹介……………3
- 社協のお知らせ……………4

# ただいま、青春真っ最中! 人生の挑戦者 =NO.1=

「歳を重ねただけで人は老いない、理想を失う時初めて老いが来る」これはアメリカの詩人サムエル・ウルマンの詩「青春」の一節です。少子・高齢化が進む中、いま年齢にとらわれないことなく行動する新高齢者が求められています。

そこで、今回から町内のあらゆる分野で活躍するスーパー高齢者を紹介してまいります。



ピアノが弾む！合唱指導24年間  
吉岡 郁子さん(朝日3丁目 88歳)

「さあ、行きますよ お腹から声をだして...！」  
今日も軽やかにピアノを奏で高齢者大学合唱クラブで指導をする郁子さんの凛々しい姿が在ります。

郁子さんはいま合唱クラブのほかハーモニカサークルでハーモニカも指導するというマルチ高齢者であります。

昭和63年教育委員会からピアノの腕を見込まれ合唱クラブの指導を任されたのが始まりで、今年で実に24年間も続けてこられました。

いま郁子さんは週2回、合唱とハーモニカを指導していますが、サークルのない日は自宅でのみみんなのための譜面づくりや選曲で休む暇がないとのこと、「仲間の皆さんと毎週会えることが励みになり」ここまで頑張れたと話す郁子さんです。

いつまで続けますか？に「みなさんが許してくればからだの動く限り頑張りたい」と話され、そのやさしい表情は若者のように情熱に輝いていました。

# 車いす使用者の方と交流！ —栗小4年生92名—

栗山小学校は、車いす使用者の生活を知ることを目的に9月10日は、札幌市から牧野准子氏、13日は、苫小牧市から苫小牧市車椅子ダーツクラブTwinkle(トゥインクル、相原正雄代表)の皆さんを招き、4年生92名の児童と福祉体験学習が行われました。

10日は、牧野氏が「私の経験から皆さんに伝えたいこと」をテーマにお話いただき、ご自身の経験から、「出来ないことを悲しんでも仕方ない。出来ることをした方が良くと考え、前向きになった」、「困難を乗り越えていく過程で、家族や周りの人との絆が強くなって幸せです」と話されました。

13日は、車いすに乗ってのダーツ体験や相原さんの車の運転方法記録したDVD視聴、車いす生活のお話を聴くなどの学習をしました。

児童から「車いす生活になって良かったことはありますか？」の質問に相原氏は「何かお手伝いすることはありますか？などの声をかけてくれる人のやさしさに気づくことが出来たこと」と答えていました。



▲牧野准子氏



▲相原正雄氏

# 体験から新しい発見！ —夏休み体験ボランティア—

社協は、学校の夏休み期間に福祉活動の体験を通して、福祉への理解を深めることを目的に体験ボランティアを開催しました。

栗山高校、継立・栗山中学校、一般の23名(延べ38名)が特別養護老人ホームくりのさと・ガーデンハウスくりやま・ハローENJOY・栗山いちい保育園・継立保育所・ワークセンター栗の木・配食サービス・ペットボトルキャップ選別作業の体験をいたしました。



▲ペットボトルキャップ選別作業



▲特別養護老人ホームくりのさと



▲ワークセンター栗の木



▲継立保育所

🌿 ペットボトルキャップ選別作業 🌿  
継立中学校3年 佐藤 和奏さん  
選別作業は、老人クラブの方々とお交流しながら楽しくできました。  
また、ペットボトルキャップ収集活動をすることで、ワクチンがなかなか手に入らない外国の子どものワクチンになることがわかり勉強になりました。

🌿 栗山いちい保育園 🌿  
栗山高校2年 村上 美里さん  
体験では、子どもたちと楽しい時間を過ごすことができて良かったです。  
また、私は将来保育士を目指しているので、子どものお昼寝の時間に保育士さんに仕事のことをたくさん聞くことができて、良い体験ができました。

🌿 特別養護老人ホームくりのさと 🌿  
栗山高校2年 佐藤 由唯さん  
食事介護をしたのですが、スタッフの方が「その方のペースに合わせて」などアドバイスをいただき、その後は少しできるようになったので、利用者さんへの「気づかいの大切さ」がわかり、とても勉強になりました。

🌿 継立保育所 🌿  
継立中学校1年 米田 琴美さん  
小さい子どもが転んだりして泣いていたら、保育所の先生はすぐに泣きやませ、テキパキと手当をしていたので、すごいと思いました。  
ふだん、体験できないことをたくさん体験でき、とても勉強になりました。

## 参加者の感想抜粋

## 栗山町共同募金委員会総会

- 7月10日、平成24年度栗山町共同募金委員会総会が開催され、今年度の募金運動を可決し、任期満了に伴う役員が改選(任期2年)されました。
- 運動は共同募金が10月1日、歳末たすけあい募金は12月1日から開始されます。
- 募金活動は、地域の共同募金委員さんを通して展開されますので、皆様のご協力をお願い申し上げます。
- 平成24年度目標額  
○赤い羽根共同募金 2,250,000円  
○歳末たすけあい募金 1,150,000円
- 【会長】 栗山自動車整備協社長 松原 由典(再任)
- 【副会長】 栗山町内連合会会長 桜澤 忠彦(再任)
- 栗山商工会議所専務理事 丸山 紘司(再任)
- 栗山町民生委員 児童委員協議会副会長 藤澤 千恵子(新任)
- 【理事】 栗山町女性団体連絡会会長 坂口 由紀子(再任)
- 栗山町ボランティア連絡協議会会長 藤田 敦子(再任)
- 松風第1町内会 齋藤 優子(再任)
- 3区共親会 古林 義弘(新任)
- 北区町内会 北間 則之(再任)
- 雨煙別自治会 村尾 孝市(再任)
- 阿野呂自治会 澤田 義夫(新任)
- 円山自治会 横山 延一(新任)
- 角田第1町内会 市川 耕一(再任)
- 継立町内連合会 柴田 隆雄(再任)
- 日出連合町内会 西山 正美(新任)
- 【監事】 8区町内会 星野 貞夫(再任)
- ときわ町内会 丸山 俊信(新任)

※町内会・自治会からの役員はそれぞれ推薦された共同募金委員

# 届けます町民のやさしさを 東日本大震災ボランティア派遣 - 10月8日~11日 -

ボランティア連絡協議会と社協の共催により、東日本大震災被災地派遣ボランティアを行うこととなりました。

東日本大震災から1年半が経過し、被災地は少しずつ復興に向けて進み始めておりますが、まだまだボランティア活動は求められております。そこで今、現地で求められている活動で私たちにできることは何かを調査し、岩手県の釜石市と宮古市で活動することとなりました。

- ◆活動内容 仮設住宅入居者と靴下カバー作り  
放課後子どもクラブ支援等
- ◆参加者 (6名)
 

・月見草の会	土田清美氏
	小原富佐子氏
・赤十字奉仕団	山下妙子氏
・リディングサービス	
とらいあんぐる	中村由江氏
・くりやま手話の会	不破潤氏
・青年団体協議会	亀森隆志氏

## 無料法律相談のご案内

社会福祉協議会は、法律でお悩みの方を対象に下記の要領で無料法律相談を開設しています。

また、日常の心配ごとや困りごとで相談を希望される方の対応もしておりますので、いつでもご連絡ください。

- ◇開設日時 10月19日(金)13時~16時  
毎月第3金曜日に開設  
※11月以降の開設日は、町広報にてお知らせいたします。
- ◇申し込み 事前に社協へ電話予約  
※先着順とさせていただきます。
- ◇相談料金 無料
- ◇相談時間 おおむね20分程度  
※あらかじめ相談内容をまとめ、必要な資料をご持参下さい。
- ◇開設場所 栗山町総合福祉センター「しゃるる」
- ◇相談員 札幌弁護士会所属弁護士

## 車いす・歩行器・ベットの柵 を無料で貸出します

- 対象者 一時的(短期)に必要な方
- 貸出料金 無料
- 貸出期間 おおむね1週間~1ヵ月  
※貸出期間は相談に応じます。
- 貸出場所 栗山町総合福祉センター「しゃるる」



## 「福祉の杖」のご案内

- 対象者 おおむね65歳以上で歩行に不安のある方
- 料金 1本800円  
※2,300円~1,500円  
(原価) (赤い羽根共同募金の助成)
- 場所 栗山町総合福祉センター「しゃるる」内  
栗山町社会福祉協議会  
栗山町役場(住民福祉課)  
南部公民館



## ご厚志ありがとうございます

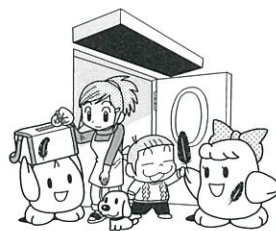
平成24年6月21日以降 平成24年9月20日までに  
お寄せいただいた方

- 金一封
    - 田村保夫様(角田)より母の逝去に際して
    - 田村繁則様(南学田)より母の逝去に際して
    - ホテルパラダイスヒルズ(株)オオタ様より  
社会福祉事業へ
    - 松坂志津枝様(話の聴き方講座講師・札幌市)  
より社会福祉事業へ
    - 棟堂英俊様(南学田)より社会福祉事業へ
    - 古俣芳晴様(札幌市)より母の逝去に際して
- ※社協への寄附金は確定申告時の所得控除の対象になります。

平成24年10月1日発行(第88号)

発行：社会福祉法人  
栗山町社会福祉協議会

〒069-1513 栗山町朝日4丁目9番地36  
栗山町総合福祉センター「しゃるる」1階  
TEL (0123) 72-1322  
FAX (0123) 72-5121  
E-Mail k-shakyo@jeans.ocn.ne.jp  
ky\_sya@mskk.gr.jp  
印刷：山東印刷株式会社



社協よりは、赤い羽根共同募金の助成を受け作成しています

今年の夏は、とても暑い日が続く、夏バテにならない方も多いため、夏バテにならないように。  
私は、近年になく、アイス・氷・炭酸飲料など冷たい物をたくさん食べたり飲んだりした夏でした。  
このような年の冬はどうなるのかなあと思ったり不安を感じつつ、穏やかであってほしいと今から祈っています。

編集後記